

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年度第2回吉川市児童福祉審議会
開 催 日 時	平成25年11月20日(水) 午後6時00分から 午後7時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所第2庁舎204会議室
出席委員(者)氏名	和泉広恵会長、田中公明委員、戸張精一委員、五十嵐修委員、 長井圭子委員、林美希委員、小助川美穂委員、林桂委員
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	子育て支援課 課長 戸張悦男 教育総務課 課長 上原良夫 子育て支援課 課長補佐 伴茂樹 子育て支援課児童福祉係 係長 濱田智恵 子育て支援課保育係 係長 渡辺剛 教育総務課管理係 係長 宗像浩 子育て支援課児童福祉係 主任 高尾匡
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開 会 2 議 事 (1) 子ども・子育て支援新制度に係るニーズ調査(吉川市子ども・子育て支援事業計画作成のために実施する利用意向等把握調査)実施状況の報告について (2) 吉川市次世代育成支援対策地域行動計画(後期行動計画)における12事業の検証及び第5次吉川市総合振興計画における子育て支援施策の取り組みについて (3) 教育・保育提供区域の設定について (4) 子ども・子育て支援新制度の動向について (5) その他 3 閉 会 すべて公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	なし
傍 聴 者 の 数	0名
会議資料の名称	次第、資料1、資料2、吉川市次世代育成支援対策地域行動計画(後期行動計画)、第5次吉川市総合振興計画概要版
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	戸張精一委員、五十嵐修委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	<p>&lt;開会&gt;</p> <p>ただ今から、平成25年度第2回吉川市児童福祉審議会を開催させていただきます。本日は、大変お忙しい中お集まりいただき誠に有難うございます。</p>
事務局	<p>&lt;事務局挨拶&gt;</p> <p>戸張子育て支援課課長あいさつ。</p>
事務局	<p>&lt;資料確認&gt;</p> <p>配付資料の確認。</p>
事務局	<p><b>&lt;吉川市子ども・子育て支援に係るニーズ調査(吉川市子ども・子育て支援事業計画作成のために実施する利用意向等把握調査)実施状況の報告について説明&gt;</b></p> <p><b>【関係資料】</b></p> <p><b>資料1「平成25年度第2回吉川市児童福祉審議会」</b></p> <p>現在までの回収状況は、就学前が560通、小学生が572通、合計1,132通で、約38パーセントの回収率となっています。</p>
和泉会長	<p>調査の経過報告ですが、何かご質問等ありますか。</p>
五十嵐委員	<p>回答率が38パーセントということだが、この回収状況をどう受け止めるべきか。それだけ関心があるのか、ないのか。回答するのが面倒なのかなどの分析が必要なのかなと思う。意見として発言させていただいた。</p>
和泉会長	<p>事務局で何かあればお願いします。</p>

事務局	<p>平成21年に実施した次世代育成支援に関するニーズ調査では、就学前1,000人、小学生1,000人が対象人数でした。その時の回収状況は、就学前555人、小学生541人で、回収率が54.8%でした。</p> <p>今回調査の本日までの回収状況は、就学前560人、小学生572人で、回収率としては、現時点で約38%と平成21年の調査より下回っていますが、既に前回調査より回答いただいた方の人数は上回っています。最終的には、11月22日の締切日、以降も回答いただける方もいるため、次回の審議会では、回収状況を含めて集計結果を報告したいと考えています。反省点としては、もう少し問題数を減らしたり、絵を入れたりするなどの工夫があっても良かったのではないかと考えています。</p>
五十嵐委員	<p>確認だが、対象者にはアンケート調査票と併せて返信用封筒を送付し、調査票に回答して返信用封筒に入れて投函する方法であったか。</p>
事務局	<p>その通りです。</p>
和泉会長	<p>今回は、調査票の質問項目も多かったが、昨今、一般的に紙ベースでの回収率は下がってきている。回収率は、おそらく40パーセント台にはいくのかなと思う。</p>
林美希委員	<p>私の家庭にも今回の調査票が届いたが、他にもアンケート調査票が届いた。人によっては、2種類届いているかもしれない。</p> <p>最初の調査に回答したから、次の調査はもう回答しないという方もいるかもしれない。</p>
和泉会長	<p>活かせるところは、課題として次回に活かしていただきたい。</p>

事務局	<p>＜吉川市次世代育成支援対策地域行動計画（後期行動計画）における12事業の検証及び第5次吉川市総合振興計画における子育て支援施策の取り組みについて説明＞</p> <p><b>【関係資料】</b></p> <p><b>資料1「平成25年度第2回吉川市児童福祉審議会」及び第5次吉川市総合振興計画概要版</b></p>
和泉会長	<p>何かご意見、ご質問等がありますでしょうか。</p>
小助川委員	<p>第5次吉川市総合振興計画における子育て支援施策の取組の中で何点か質問する。</p> <p>1点目が、子ども医療費が平成21年度と平成24年度を比べると単純に2倍以上の差があるがなぜか。2点目は、平成24年度のひとり親家庭等医療が平成21年度より少ない額となっているが、ひとり親家庭が減少したのか。3点目は、ひとり親家庭等医療費は、こども医療費と別なのか。4点目は、児童館ワンダーランドの利用者総数が減少しているが、減少している理由を把握しているか。</p>
事務局	<p>まず、子ども医療費についてですが、平成21年度においては、就学前の児童と、入院のみ中学生までを対象としていました。平成23年の7月からは、通院も対象者を中学生までに拡大したため、子ども医療費の額が平成21年度より平成24年度の方が増額となっており、それに伴い登録者数も大幅に増えています。</p> <p>次に、ひとり親家庭の減少についてですが、今、詳細な数字は手元にありませんが、ひとり親家庭は減少しておらず、緩やかに増加しています。</p> <p>ひとり親家庭等医療費が減少している理由については、平成</p>

	<p>21年当時、対象となる小学生、中学生については、ひとり親家庭等医療、その後、平成23年の7月からは、こども医療費が拡大されたため、子ども医療費を優先して利用していることから、平成21年度より平成24年度の方が減額になっていると分析しています。</p> <p>最後に児童館ワンダーランドの利用者総数の減少については、何か大きな要因があるのかどうか把握していませんが、考えられることとしてプラネタリウムのマンネリ化が少しあるのかと思われ、課題であるとも感じています。また、事業についても出来る限り充実させているところですが、近年、若干減少傾向となっています。</p> <p>第5次吉川市総合振興計画概要版の12ページ、テーマ2のII-7に地域医療体制の充実とある。私は、病院に勤めているが、土日、祝日は小児科の医師が待機しており、吉川市からも患者が来ている。地域医療体制の充実を図るためにも市内拠点病院も、もう少し頑張ってもらいたいと思っているが、医療体制については、どのように充実させていくのか。私は、充実していると思っていないが、いかがか。</p>
林桂委員	
和泉会長	<p>半分、要望も含んでいるが事務局としていかがか。</p>
事務局	<p>具体的な回答には至りませんが、総合振興計画は吉川市での最上位計画となっています。重点化を図る取り組みの施策として子育てしやすいまちをつくることをテーマとし、7つの取り組みを位置付けています。この位置付けにより地域医療体制の充実をさらに高めていくということですが、市だけでは、課題の解決は難しいと思われ。所管が異なるため詳細はわかりませんが、計画に基づいて医療機関との連携等も含めて、市内</p>

和泉会長	<p>の医療体制の充実を図っていくものと思われます。</p> <p>他に何かご質問等がありますでしょうか。</p>
林美希委員	<p>質問ですが、資料1の5ページに通常保育事業の目標事業量は、8か所、756人となっている。現況では、9か所で767人となっており、8か所の場合と人数が差ほど変わっていない。目標よりも意外と利用者がいなかったのか。</p> <p>また、延長保育事業についても目標事業量は、8か所、490人となっている。現況では、9か所で333人となっており、既に市民の要望を満たしているからなのか。</p>
事務局	<p>通常保育事業につきましては、認可時の利用人数が767人となっており、実際の利用人数は、平成25年3月末時点で799人となっています。</p>
林美希委員	<p>大きな施設や小さな施設等で受け入れる児童の人数は変わってくると思うが、目標事業量以上の施設を有している割に受け入れ児童数があまり変わっていないのはなぜか。</p>
事務局	<p>平成21年度に計画を策定した時点では、平成26年度で756人の受け入れ可能な施設を整備すれば待機児童がいなくなるという想定のもと756人という人数を設定しました。</p> <p>平成24年度の実績は、平成24年に民間保育所が2か所増えたことから7か所から9か所になりました。平成21年度当時は、保育所の規模や人数を想定することができません。その後、事業が進んでいく中で保育所が設置され、定員が決まってきました。現在は、弾力的な対応が可能のため、基準を満たせばプラスアルファで受け入れることが可能となっていますの</p>

	で、799人というのが現状になっています。
林美希委員	以前、待機児童が100人くらいと聞いたが。
事務局	入所申込み児童が100人程度となっています。
和泉会長	念のため確認ですが、延長保育事業についてはニーズが満たされていると考えていいのか。
事務局	延長保育事業につきましては、保護者の方の就労状況によります。実際に入所されている児童の保護者で午後4時半以降も勤務している方は、延長保育を利用いただいています。
林美希委員	病児・病後児保育事業の目標事業量は、既に満たしているが、1日4人は少ないと思う。これで十分だと考えているのか。
事務局	現在の状況を申し上げますと、ほぼ需要は満たされています。 特に冬場のインフルエンザの時期などは、1日に4人ではなく、日によっては6人程度受け入れていただいております。受け入れ先の医療機関では、柔軟に対応していただいています。今回のニーズ調査において、利用意向を把握し必要量を検討していきたいと考えています。
事務局	<b>&lt;教育・保育提供区域の設定について説明&gt;</b> <b>【関係資料】</b> <b>資料2「吉川市教育・保育提供区域図（案）について」</b>
和泉会長	教育・保育提供区域について中学校区単位との説明があったが、今の説明に対してご意見ご質問はありますか。

林美希委員	<p>ニーズ調査で美南の地域に中学校の整備の要望が多くあれば、反映させることもあるのか。吉川市の財政としては黒字と聞いており、単純に声があれば整備するのか。</p>
事務局	<p>子ども・子育て支援事業計画の中では、教育・保育の受給バランスを調整することが主体となっており、計画を定める中で、まず区域を定めることとなっています。市の区域で考えれば吉川市を1つの単位として区域設定することもあると思いますが、今回案として示しているのは、中学校区単位としています。他市町村では、小学校区単位やその他の単位で対応するところもあると聞いています。</p> <p>今回のニーズ調査の自由意見の中で、学校に関する要望等いろいろな意見をいただいています。計画策定にあたっては、保育、幼児教育が主眼となっていますので、その点をご理解いただき、その他の意見については、取りまとめて担当部署に伝えていきたいと考えています。</p>
小助川委員	<p>区域を越えたところへの就学は、基本的には考慮しない、勘案しないという考えか。</p>
事務局	<p>区域設定に関しては、それぞれの区域において教育・保育、子育て支援事業の需給ができていのかどうかを計画の中で客観的に見ていくための指標と考えています。別の区域へ通学、通園できないということではありません。</p>
小助川委員	<p>今の回答をいただいた上での質問で、あくまでも需要を勘案した時の参考までに区域を設定したと考えると、中央中学校区域の学童保育室は、他の区域に比べ学童の数が少ない。学童保育室のニーズが満たされていないのではないか。</p>



事務局	<p>今回の区域設定の案は、中学校区域となっており、小学校区域は、別の区域となっています。例えば、南中学校区域を見ますと吉川小学校が含まれていますが、小学校区域ですと中央中学校にも影響しています。現在、学童保育室は、待機児童が発生していない状況です。対象となる児童は、全て受け入れており現時点で需要は満たされています。</p> <p>なお、平成27年の4月からは、対象者が全ての小学生に拡大されますので、計画の中でどのように盛り込んでいくのかは、この先の課題と考えています。</p>
五十嵐委員	<p>幼稚園は、区域があつてないようなものである。保育所は、なるべく中学校区域の保育所を利用してほしいということだと思う。幼稚園もこの区域以外は行ってはいけないと勘違いされる恐れもあり、教育・保育提供区域について勘違いされなければいいと思う。</p>
事務局	<p>今後、保護者の方も心配になってくると思われます。来年度に関しては、市でも説明会等を実施していく必要があると認識しており、誤解がないようにしていきたいと考えています。</p>
和泉会長	<p>教育・保育提供区域についても意味合いを共有していく必要がある。</p>
田中委員	<p>区域として、中学校区域という名称もどうかと思う。例えば、南地区だとか、中央地区だとかという形の方がすっきりするかもしれない。</p>
事務局	<p>名称については、事務局でも検討するとともに今後、ご意見をいただきたいと考えています。</p>

事務局	<p>&lt;子ども・子育て支援新制度の動向について説明&gt;</p> <p><b>【関係資料】</b></p> <p><b>資料1「平成25年度第2回吉川市児童福祉審議会」</b></p>
和泉会長	<p>まだ始まっていない制度なので、不明な点も多いかと思いますが、何かご意見ご質問等ありますか。</p>
五十嵐委員	<p>私は、幼稚園という立場ですが点数での優先順位はいいと思う。第1希望が区域内であればいいが、区域外の方は区域内の方と同じように扱われるのか。</p>
事務局	<p>教育・保育提供区域は、入園等に影響することはありません。あくまでも、提供区域の設定は、需要に対して市でどのくらい整備、充実等させていくのかという指標を示すためのものです。</p>
事務局	<p>一番に優先されるのは、ポイントの高い方です。</p>
林美希委員	<p>資料1の12ページの保育の必要性の認定に係る事由について、現行の事由から新制度の事由に変わったら、対象者の枠が広がり、対象者が希望すれば需要が多くなる。そうすると待機児童が増えると思う。児童が増えると施設整備以外に、どのようなことを考えているのか。</p>
事務局	<p>これは、新制度の保育の必要性の事由の案として示されているものです。現在の当市の状況としては、この案とほぼ同様となっています。仮にこの案が策定されたとしても、認定に関して大きな変更にはならないと考えています。</p>

林美希委員	既に良くしているということか。
事務局	現行の児童福祉法施行令よりも、ある程度弾力化し、柔軟に考えて対応している状況です。
和泉会長	新制度の保育の必要性の事由として、虐待、DVのおそれがあることと位置付けられている。これについては、他の事由と少し違っているようなところがあると思われるが、このあたりを勘案するというのは、どのようなイメージをしたらよいのか。
事務局	現在も、児童虐待やDVで保育所に措置している児童もおり、例えば、児童相談所から集団での見守りをしてほしいという通知を市が受け取った場合は、できる限り考慮して対応しています。
和泉会長	その他、ご意見がなければ議事は以上となります。 ありがとうございました。
和泉会長	<会議録署名人の指名> 五十嵐委員と戸張委員を指名。委員了承。
事務局	<その他について説明> 次回の審議会は、平成26年1月29日（水）午後6時からに決定。 次回は、ニーズ調査の集計結果を報告したいと考えています。  <閉会>

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成25年12月6日

署名委員 (戸張精一 自署)

署名委員 (五十嵐修 自署)